

オーディションセリフ課題 女性（エミリーのセリフを言ってください）

エミリーは深々と頭を下げ、ゆっくりと語り始める。

エミリー

：今夜サンライズシアターへお越しの皆様、どうもありがとうございます。私たちの作品を愛してくださって、心から嬉しく思います。50回という節目を迎えられたことは、皆様のおかげであり、これからもこの作品とこの劇場を愛し続けてくださることを切に願います。私はほんの2ヶ月前まで、この劇場で掃除係、雑用係として働いていました。それまでお芝居なんてやったこともなくて、まさか自分がこれほど多くの人たちの前で歌ったりするなんて、夢にも思っていなかったわ。今でも夢の中にいるみたい。こうして話しても、心臓は口から飛び出しそうなほど緊張している。私はただただ、舞台上で輝く人たちを陰で支えながら、舞台袖からその眩しい横顔を見るのが大好きな、ミュージカル好きの女の子だったんです。そしてそれは、今も何一つ変わらない。

コナー

エミリー、やめるんだ！

エミリー

いえ、むしろその思いは、実際に舞台上に立ってみて、更に強くなったわ。舞台上で輝く俳優たちはもちろん素晴らしい。それは疑うまでもない。でも、私が本当に賞賛を送りたいのは、舞台を裏側で支えてくれるスタッフたち。キャロルが書いてくれた、この作品に出てくるような彼らが実際にいてくれるから、舞台の幕は上がり、俳優たちは舞台上に立てる。お客様はひと時の夢を観ることができる。舞台は創られた人生を語る。舞台人は人生をかけて創る。私は人生をかけて創る人たちの助けになりたい。それが私の一番の願い。一番の幸せ。私の特等席はやっぱり、舞台の袖でここじゃない。そう気が付いたの。私は私の心に正直でありたい。

コナー

エミリーー！！

エミリー

私は、今夜でステージを降りて、自分の居場所に戻ります。